

平成26年度和歌山県文化奨励賞

ひろたに よしひろ
広谷 純弘

住 所 東京都新宿区
出身地 和歌山県和歌山市
生 年 昭和31年

◎ 業績及び経歴

昭和31年和歌山市に生まれる。東京理科大学工学部建築学科卒業後、株式会社建築研究所アーキヴィジョンに入社、平成2年に同社副所長に就任、平成18年に株式会社アーキヴィジョン広谷スタジオを設立し、代表取締役役に就任した。

氏は、これまでに様々なすぐれた建築を設計し、数多くの受賞歴を誇っている。中でも、「三重県立熊野古道センター」では、柱・梁・壁の全ての構造体を同じ寸法のヒノキ角材のみで組み上げる設計により、スケール感と繊細さを併せ持ち、なおかつ付近の景観と調和した博物館を完成させ、平成24年に公共建築賞・国土交通大臣表彰を受賞したところである。

また、レイモンド各保育園の設計でも多くの賞を受賞しているほか、県内の建築物では、かつらぎ町の「山荘・天の里」の設計も手掛けている。

最近では、平成26年に、「森の茶室」により木材活用コンクール・製品部門賞とJCDデザイン賞を受賞しているが、この「森の茶室」は、紀州スギ材のブロックで作られ、組立・解体・移動が可能な茶室として、ふるさと和歌山の紀州材の魅力を多くの人々に伝えることに貢献している。

国内で活躍する一方、海外においても、平成21年には、オーストリア・ザルツブルグ博物館「日本の芸術」展に建築家として唯一招待されるなど高い評価を受けている。

住宅から公共施設、商業施設の設計や、アートイベントまで幅広く活躍している氏は、建築家として、文化の振興に大きく寄与しており、今後もより一層の活躍が期待されている。

■ 現 在

株式会社アーキヴィジョン広谷スタジオ
代表取締役
和歌山大学客員教授
東京理科大学非常勤講師

◆ 主な表彰歴等

平成13年 第12回日本建築学会・北陸建築文化賞
平成14年 第39回中部建築賞
平成24年 第13回公共建築賞・国土交通大臣表彰
平成25年 JCDデザイン賞金賞
平成25年 京都デザイン賞・京都新聞社賞
平成25年 第9回こども環境学会デザイン賞
平成26年 第2回京都建築賞・奨励賞
平成26年 第17回木材活用コンクール・製品部門賞